

夢のある未来社会へ向けて、
東京エレクトロングループの技術で
社会の発展に貢献してまいります。



創立50年目を迎えて

1963年11月に産声を上げた東京エレクトロングループは、今年で創立50年目を迎えます。これもひとえに、当社を長きにわたりご支援くださっている皆さまのお力添えがあってこそと考えており、改めて厚く御礼申し上げます。

当社は今後も、「人々の豊かな生活の実現、夢のある社会の構築、そして技術で環境問題に取り組む」という信念のもと、製造装置メーカーとして、価値ある技術・サービスの提供に真摯に取り組んでまいり所存です。そして、そのような使命を経営陣と社員が共有し、いきいきと輝き、夢と活力に満ちた会社を目指してまいります。

東日本大震災や円高、さらには欧州金融リスクなどの厳しい外部環境の中、当社が目指す姿を実現するために、2011年度は、環境問題への取り組みや社会貢献を見据え、現事業の強化や中長期的な視点での先行投資など、さまざまな取り組みを進めてまいりました。特に先行投資に関しては、世界各地の工場や技術開発センターの設立、海外企業の買収など、中長期的な視点にもとづき積極的な対応を行いました。今後も製造装置メーカーとして確かな価値を提供してまいりたいと考えております。

—半導体製造装置

半導体製造装置事業では、主力のエッチング装置事業強化のための宮城新工場を昨年10月に竣工いたしました。さらに、半導体製造装置事業の開発拠点においては、従来からの日本、アメリカに加え、一昨年からは台湾、この4月からは韓国でも、新たな技術開発センターの操業を開始しております。アジア各国は市場の急成長が期待されており、各地に拠点を拡大することで、世界の主要なお客さまの近くで上流から開発と一緒に取り組み、タイムリーに次世代の製造装置を開発し、提供してまいります。さらに、拡大する先端パッケージ分野の強化のため、2012年5月にアメリカのネクス・システムズ社を買収いたしました。同社の高い技術力を取りこみ、新たな分野での事業を発展させていく計画です。

このように当社の事業の中心である半導体製造装置事業では、お客さまのニーズをいち早くつかみ当社固有の技術を用いて主力の装置事業を強化することが重要です。また、微細化の極限が近づきつつあるとも言われており、今後は新たな構造や新しい材料を用いた半導体にも期待が集まっております。これら市場の要求に向け、三次元積層技術を用いた製品群などを拡充するとともに、東北大学との共同開発により、新材料による次世代のメモリーデバイスであるSTT-MRAMの量産化装置の実現にも挑戦してまいります。

—フラットパネルディスプレイ製造装置

フラットパネルディスプレイ製造装置事業では、需要が拡大する中国市場へ迅速に対応するべく、中国昆山工場を2012年3月に竣工いたしました。

この分野では技術の差別化がなくなりつつあります。そこで、応答速度や色彩に加え、重さや薄さ、消費電力などさまざまな面において従来の液晶パネルよりも一つ先の世代のディスプレイと言われている、大型の有機ELパネルを量産できる製造装置の実現が待たれており、当社も今後この開発を加速してまいります。

—太陽光パネル製造装置

太陽光パネル製造装置事業では、当社の製造装置技術を活かし、薄膜シリコン型太陽光パネルの製造装置開発に力を入れていく所存です。当社が扱う薄膜シリコン型は、材料費の割合が低く、製造装置技術により性能やコストの改善が可能です。また、発電所などの大規模エネルギー市場への参入には最適な候補の一つと考えられ、将来的には大きな可能性を有しております。2012年3月にはスイスのエリコン・ソーラー社と株式譲渡契約を締結いたしました。これを機に、太陽光パネル製造装置事業強化のための取り組みをいっそう加速してまいります。また同じく3月には茨城県つくば市にテクノロジーセンターを建設いたしました。日本を代表するさまざまな研究機関に加え、優秀な人材が集まるこの地で、国や大学の研究機関などとも強く連携し性能の向上に努めてまいります。

「地球環境に技術で貢献するグローバル企業」の実現に向けて

当社は、2008年5月に「Technology for Eco Life」を環境活動のスローガンとする環境コミットメントを掲げ、2014年度末までに、当社グループの事業活動や物流に伴う環境負荷、並びにお客さまの工場における総合環境負荷を2007年度比で半減することを目標としてまいりました。この度、達成の見込みが立ったこともあり、今後は新たな目標のもと、さらなる取り組みを進めてまいります。

社員がいきいきと働くことのできる会社を目指して

当社は、「社員は会社の財産」であるとの考えのもと、社員とともにこの50年間を歩んでまいりました。社員がいきいきと輝いてこそ前向きに多くの挑戦を行うことができ、その実現も成し得ることができると考えております。一昨年から会社のブランドを構築する活動にも力を入れており、社員が自分の会社にいっそう誇りを持つ一助にもなっております。また、多くの人々に当社に関心を抱いてもらうことで、より幅広い人材が当社の門戸を叩いてくれるようになってまいりました。社員が一丸となって新たな成長への一歩を踏み出せるよう、今後も社員が働きやすい環境を整えてまいります。

地域社会に根ざした企業活動を

当社は、地域に密着した良き企業でありたいと考えており、さまざまなコミュニケーション活動を通じて地域の方々との信頼関係を築き、社会とともに発展していきたいと考えております。事業活動の範囲が急速に世界に拡大している中で、海外における社会との共存・共生を考えることは重要な使命の一つであると考えており、日本はもとより、アジア、アメリカ、ヨーロッパなど世界各国の拠点でも、このような活動を行ってまいります。

最後に、当社の経営ビジョンとして、最も重要な点を三つ挙げるとすれば、世界ナンバーワンの技術開発力の維持・向上、お客さまからの絶対的な信頼、そして社員の活性化であると考えております。創業以来のこれらのDNAは、変わることはありません。

当社は、創立50年目の節目を迎えるにあたり、これまで同様、ステークホルダーの皆さまのお声を真摯に受け止めながら、これからの50年に向けて、社会の発展に引き続き貢献していきたいと考えております。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東京エレクトロン株式会社
代表取締役社長

竹中博司